

Friendly Awara

“惜別百年記念 100年の^{とき}時間を越えて”

— 藤野巖九郎と魯迅胸像除幕式を開催 —



平成19年3月23日：藤野先生と魯迅の胸像除幕式
(松木市長、孫北京魯迅博物館長ら9名)

2006年は、藤野巖九郎と魯迅が東北大学医学部の前身である仙台医学専門学校で別れた、いわゆる「惜別」から百年目にあたります。

あわら市と北京魯迅博物館は、これを記念して二人の胸像を交換し、3月23日（金）藤野巖九郎記念館において、二人の胸像の除幕式を行いました。

除幕式には、孫毅北京魯迅博物館長、李東翔中国大使館公使参事官、大西仁東北大学副学長らをはじめ約100人の来賓出席しました。

除幕式のあと、東北大学魯迅研究プロジェクト代表の大村泉東北大学大学院経済学研究科教授が「藤野先生と魯迅—惜別百年—を編集して」と題して記念講演を行いました。



除幕式終了後、握手を交わす孫館長と松木市長

この中で、大村教授は「あわらが生んだ偉大な教育者、藤野巖九郎先生」を魯迅の解剖学ノートの解剖図の訂正をもちいて、聴衆に具体的に示し、あらためて二人の師弟愛とこれからの更なる日中友好交流について講演を行いました。



2007日中文化・スポーツ交流年
期待を未来へつなげよう。

なお、今回の事業は、今年「日中国交正常化35周年」を迎えることを記念し、外務省が行う2007「日中文化・スポーツ交流年」の公式事業として認定を受けています。これを機に、日中両国民の相互理解をより一層深めていきたいと考えています。

惜別百年記念事業のご紹介

あわら市とあわら市日本中国友好協会では、藤野巖九郎と魯迅の惜別百年を記念して、次のような事業を行いました。

胸像交換の目録交換〔第3次訪中団〕-11月18日(土)-

11月18日、第3次友好訪中団が北京の魯迅博物館を訪問した際、あわら市と同博物館の間で、藤野巖九郎と魯迅の胸像交換にかかる目録の交換式を行いました。

これによって、あわら市では3月23日に二人の胸像除幕式が行われ、一方、北京魯迅博物館では、9月に除幕式が行われることになっています。(あわら市での除幕式関連記事を第1面に掲載)

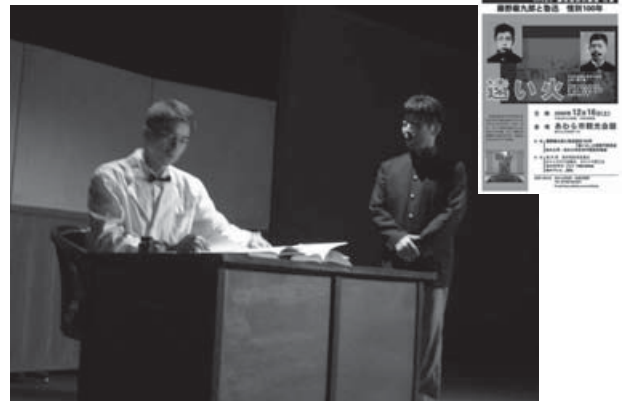


博物館からの目録（中央は孫館長、右は周海嬰氏）

NPO 法人劇団仙台小劇場「遠い火」上演-12月16日(土)-

結成35年を越えた仙台の老舗市民劇団による「遠い火」が、12月16日(土)あわら市観光会館で公演されました。

これは、魯迅が仙台医学専門学校で学んだ2年たらずの中で、先生、友人、そして仙台の街の人との出会いや交流、そして別れを感動的に描きあげた、叙情あふれるオリジナル作品で、当日は、500人を超える市民らがこのお芝居を鑑賞しました。



「遠い火」の一場面

惜別百年 藤野先生と魯迅 -3月23日(金)発刊-

あわら市では、東北大学の魯迅研究プロジェクトのお力添えをいただき「藤野先生と魯迅-惜別百年-」と題した記念誌を発刊しました。

これは、あわらにおける藤野巖九郎を中心に執筆したものでこれを機に、藤野巖九郎と魯迅の二人の師弟愛を未来永劫に伝播したいと考えています。(記念誌は、藤野巖九郎記念館及び市秘書広報課で販売しております。)



発刊された記念誌「藤野先生と魯迅-惜別百年-」



ゲートボールを通して国際交流・・・ 紹興市親善ゲートボール代表団訪問



〈藤野巖九郎記念館を訪問〉



〈表彰を受ける紹興市の代表チーム〉

5月16日～18日の間、紹興市ゲートボール代表団一行19名があわら市を訪問しました。

これは、平成17年に第2次あわら市友好訪中団が派遣され、あわら市と紹興市のゲートボールチームが親善交流を行った際に、団長の松木市長が、紹興市ゲートボール訪問団の派遣を張金如紹興市長に依頼して、今回ようやく実現したものです。

16日、一行は東尋坊を見学したあと、藤野巖九郎記念館を見学し、引き続き松木市長を表敬訪問しました。

17日、代表団はあわら市の代表チームが待つトリムパークかなづに到着し、開会式後早速試合が行われました。

あわら市のチームには、第2次訪中団に参加した「さくら倶楽部」と「新郷チーム」、「坪江

チーム」の3チームの皆さんが参加をし、久しぶりの再会に懐かしさを感じながらも、白熱したプレーを展開しました。



〈試合終了後の記念撮影〉

成績は次のとおりでした。

- 優勝：さくら倶楽部（あわら市）
- 次勝：上虞チーム（紹興市）
- 三位：諸暨チーム（紹興市）

第3次あわら市友好訪中団を派遣

第3次あわら市友好訪中団員名簿<敬称略>

役員

団長 松木幹夫 市長
 副団長 山川豊 市議会議長
 副団長 齊藤貞夫 市日中友好協会副会長兼事務局長
 参与 丸谷浩二 市議会議員
 参与 関山博夫 市議会議員
 参与 山口峰雄 市議会議員
 参与 中荒江俊 市日中友好協会理事
 秘書長 辻博信 市秘書広報課長
 秘書 山口徹 市秘書広報課課長補佐

団員

川内信一
 川内愛子
 佐藤誠夫
 吉村幸夫

矢崎定孝
 矢崎玲子
 長谷川幸治
 長谷川洋子
 河嶋喜代子
 齊藤千恵子
 近藤美栄子
 布谷雪枝

高原洋子
 三上広子
 山崎やす子
 山田たせ子
 杉田房代子
 野嶋正子
 竹内とみ子
 末富優美子
 藤山英子
 山田紀子
 宮川志づ江子
 黒田絹恵美子
 丸子恵美子
 長谷部道子
 池田美子
 細川治夫
 藤野卓美
 渡辺浩一
 牧野佳奈子

平成 18 年 11 月 16 日から 20 日までの5日間、第3次あわら市友好訪中団(団長松木幹夫市長)を紹興市へ派遣しました。

今回の大きな目的は、①友好都市である紹興市との友好を更に発展させること、②浙江省人民対外友好協会創立 50 周年記念式典に参加すること、③北京魯迅博物館で藤野巖九郎と魯迅の胸像交換にかかる目録贈呈式に参加することでした。

いずれの目的も無事終わることがで、最終日の故宮博物院や万里の長城では、中国 4 千年の歴史を満喫していました。

また、今回は在中国日本大使館の井出公使とご一緒する機会に恵まれ、今後の中国との交流のあり方などをお話いただき、今後の日中交流の推進に大変参考となりました。



目録交換に立会った団員



日中21世紀交流事業



中国高校生訪中団第5陣 来市

外務省では、日中関係の未来を担う高校生を中心とする青少年交流の重要性を確認するため、「日中21世紀交流事業」を行っています。

日本側においては、財団法人日中友好会館が、平成18年度に中国人高校生1,100名の招聘を行い、今回の第5陣250名のうちの100名があわら市を訪問しました。

一行は、中国の北京市、吉林省、江西省、雲南省の1市3省、29校の高校生で、坂井地区内の金津、三国、丸岡、坂井農業、春江工業の5つの高校に分かれて、各高校での交流事業に参加しました。

その後、各高校のホスト生徒とともに下校し、楽しいホームステイを体験しました。

ホストファミリーの皆さん、そしてホームビジットにご協力いただいた市職員協会役員の皆さんありがとうございました。



藤野厳九郎記念館で説明を受ける団員



高校の交流事業で茶道を学ぶ中国高校生



浙江省人民対外友好協会梁平波会長来市

4月7日、福井県との友好都市である中国浙江省人民対外友好協会の梁平波会長を団長とする一行6名があわら市を訪問しました。

齊藤会長らとの懇談では、今年は惜別百年に当たることから、今後も未来へ向かって二人の師弟愛を伝播し、日中の友好交流を更に深めていきたいとあいさつしました。



藤野厳九郎記念館 資料室を見学

過去から未来へ..郷土の医師 藤野巖九郎を語る

昭和55年5月28日、芦原町下番区民館において、周海嬰氏を囲んで藤野巖九郎先生を偲ぶ座談会が開催されました。それから26年後、同区民館において地元下番区老人会代表の土田岩男さんら5人と東北大学魯迅研究プロジェクトの島途教授らが、藤野先生の思い出話を語り合いました。

また、昨年12月には、第21次日中友好親善少年使節団員らが座談会を行い、同教授らから「出会いとは」また「今後の日中友好は如何にあるべきか」という話を聞き、その後訪中時の思い出話を語り合いました。

このように、百年前の藤野先生と魯迅の二人の師弟愛は、今も子どもたちへと語り継がれています。



少年使節団による座談会（国際交流センター）



地元での座談会（左はS55年、右はH18年）

〈平成 18 年度には、次のような交流が行われました〉

- 4月 6日 北京市学校関係者修学旅行視察訪日団（団長 中国婦女旅行社社長 葉礼艷）一行6名来市
- 4月 8日 浙江省人民対外友好協会訪問団（団長 浙江省人民対外友好協会会長 梁平波）一行6名来市
- 4月20日 浙江省嘉興市人民政府友好訪問団（団長 嘉興市人民政府副市長 王新民）一行9名来市
- 5月 2日 第2回日中友好自然キャンプ訪問団（団長 杭州十三中教育集团副総校長 張煥章）一行25名来市（～5日）
- 5月16日 紹興市ゲートボール代表団（団長 紹興市体育局副局長 謝牧人）一行19名来市（～18日）
- 6月 8日 第8回浙江省投資貿易商談会への参加（～12日）
- 7月 7日 東北大学魯迅研究プロジェクト研究会参加（～8日）
- 9月 5日 平成18年度JICA青年招聘事業一行20名来市、市職員との交流会（～12日）
- 11月16日 第3次あわら市友好訪問団（団長 松木幹夫市長）一行40名派遣（～20日）
- 12月 1日 浙江省人民対外友好協会実務者訪日団来市（陳艷勤、王敏、胡剛、錢飛璞）
- 12月 4日 第21次あわら市日中友好親善少年使節団（団長 手塚和典教育委員）一行19名派遣（～9日）
- 3月15日 21世紀交流事業 中国高校生訪日団第5陣一行100名来市（総団長 教育部国家教育行政学院副院長 張益群）
- 3月23日 惜別百年記念 藤野巖九郎と魯迅胸像除幕式
- 3月28日 浙江省友好代表団（団長 夏宝龍中国共産党浙江省委員会副書記）一行10名来市

編集後記 2006年は”惜別100年 “の年でした。中国との交流や多くの行事が盛んに行われた年でした。今年、”惜別”から101年目に当たります。今一度100年前の藤野巖九郎と魯迅の二人の師弟愛を見つめ直すと同時に初心に戻り、この二人の関係を未来永劫、日中両国民に伝播していきたいと思ひます。会員皆様のご協力をお願いいたします。